

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる環境づくり	施策	② 高齢者の社会参加の促進
			施策の小項目名	—
主な取組	社会参加活動促進事業			
対応する主な課題	⑤高齢者の生きがいがづくりと健康づくり、地域活動等への参加を促進する必要性が高まっており、より多くの高齢者が参加できるような取組が必要となっている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
高齢者の自主的な取組を支援するため、沖縄県社会福祉協議会に委託し、全国健康福祉祭選手派遣、沖縄ねんりんピック開催、かりゆし美術展開催、沖縄かりゆし長寿大学校運営の各事業を実施する。		180人	180人	180人	180人	180人
		かりゆし長寿大学校卒業生数				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部高齢者福祉介護課 【098-866-2214】					
		かりゆし長寿大学校の運営、ねんりんピックの開催				
		社会参加促進、健康づくり支援活動への支援				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名 社会参加促進事業							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
県単等	委託	63,290	70,054	66,552	66,552	45,984	60,552	県単等	OR2年度：コロナ禍の影響による全国健康福祉祭、沖縄ねんりんピック、沖縄かりゆし長寿大学校の中止。美術展については1月～3月末まで委託先のHPで掲載。 OR3年度：全国健康福祉祭選手派遣(108名)・沖縄ねんりんピック開催(9月)・かりゆし美術展開催(1月)・沖縄かりゆし長寿大学校運営(96名)	
予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
									OR2年度：	
									OR3年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	かりゆし長寿大学校卒業生数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	188	190	190	189	0	180	0.0%	45,984	未着手	<p>令和2年度は、かりゆし長寿大学校入学生192名を予定していたが、コロナの影響により休校、全国健康福祉祭岐阜大会及び沖縄ねんりんピックも延期となった。かりゆし美術展については、委託先のHPに掲載する方針に変更し155点の応募があった。</p>
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										<p>卒業生数は、コロナの影響により休校となったため計画値180人に対し、実績値は0人となった。また、高齢者の接触のある県版ねんりんピックも感染症の先行きが見通せないことから中止となった。</p>
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域における高齢者の社会参加促進事業に関する情報や卒業生からアンケート等を収集し、効果的な事業の運営に繋げていく。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度卒業生アンケートにおいて、今後の希望するボランティアや今後取り入れてほしい講座などを確認し、運営委員会で情報を共有し、今後の講座設定の検討材料とした。</li> <li>・令和2年度入学予定者へ大学校の知りたい内容についてアンケートを行い、「大学校講義紹介」、「クラブ活動」、「地域活動の取組」及び「卒業生の声」が多かったため、「かり大通信」という広報誌を発行し、休校となった入学予定者のモチベーション向上に努めた。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・沖縄県かりゆし長寿大学校の運営に係る事業については、地域の担い手を養成する場としての役割が期待されているが、市町村や地域の事業として市民大学を設置していたり、高齢者の生きがいに資する活動が行われていたり、また応募者も地域に偏りがあるため、県の委託事業としての役割を見直す時期である。

##### ○外部環境の変化

・直近3年の応募者数については減少傾向にあり、特に男性については、定年延長や再雇用促進等により65歳以上の男性の就業率が増加傾向であることなどが遠因となり定員割れしている状況である。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・高齢者自身が住む身近な市町村や地域で生きがいに資する活動が行われていること、男性が定員割れしている状況であることや応募者の地域の偏りなどを踏まえて、県の委託事業として、オンラインを活用し遠隔地でも学習できる環境を構築するなど、効果的な実施の方法を検討する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・各地域における高齢者の社会参加促進事業に関する情報や卒業生からアンケート等を収集し、効果的な事業の運営に繋げていく。
- ・市町村自治体・社協と連携し、オンラインによる講座の配信を検討する。



様式1(主な取組)

活動指標名	単位老人クラブや市町村老人クラブ連合会の老人クラブ活動への助成				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
					助成実施	—	100.0%	21,034	順調	市町村を通じて適正老人クラブ及び市町村老人クラブ連合会の活動への助成を実施した。(569単位老人クラブ、36市町村老人クラブ連合会)
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案								反映状況		
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、会員数増があった老人クラブを地区老人クラブ大会において表彰し、会員数増への取組を支援するとともに、沖縄県老人クラブ連合会では会員増につながる活発な会活動の事例を収集し、沖縄県全体において、令和5年度までに会員1万人増(会員数65,000人)を目標として会員増強運動に取り組む。</li> </ul>								<ul style="list-style-type: none"> <li>老人クラブを組織せずに活動している団体に対して、沖縄県老人クラブ連合会と連携し、老人クラブ加入を呼びかけた。</li> </ul>		



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ 特になし

##### ○外部環境の変化

- ・ 全国的にも会員数が減少傾向にあることが課題となっている。
- ・ 沖縄県老人クラブ連合会において、会員数増等があったクラブを地区老人クラブ大会にて表彰し、会員増への取組を支援しているが、60歳以上の就業率が増加傾向にあることや地域のつながりの希薄化などあって、県全体の老人クラブの総数は減少している。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 会員は地域活動の担い手にもなっているため、沖縄県老人クラブ連合会や市町村老人クラブ連合会と連携して会員増の取組を行う必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 引き続き、会員数増があった老人クラブを地区老人クラブ大会において表彰し、会員数増への取組を支援するとともに、沖縄県老人クラブ連合会では会員増につながる活発な会活動の事例を収集し、沖縄県全体において、令和5年度までに会員1万人増(会員数65,000人)を目標として会員増強運動に取り組む。